

処理概要

工場直送出荷の場合、営業Sから生産物流Sに出荷依頼データを連携し、生産物流Sで出荷処理を行います。生産物流Sで出荷完了後、営業Sに出荷データを取込むタイミングで対象受注を出荷済に更新し、販売実績テーブルにデータを書き込みます。

システム利用者

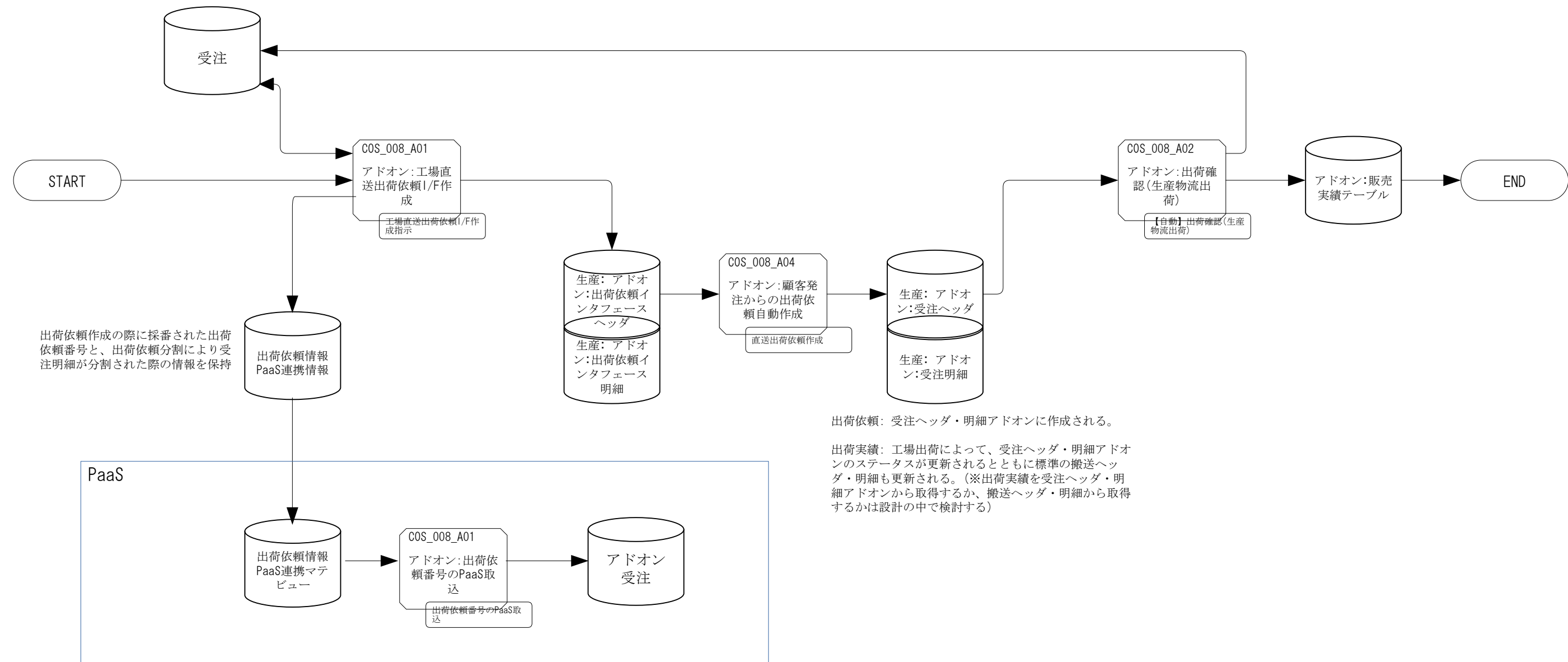
在庫照会画面: 特販部課\_内務担当者(特販部)  
その他: 拠点\_内務担当者、百貨店課\_内務担当者、専門店課\_内務担当者、  
特販部課\_内務担当者、通販部課\_内務担当者、国際部\_内務担当者

処理タイミング、その他

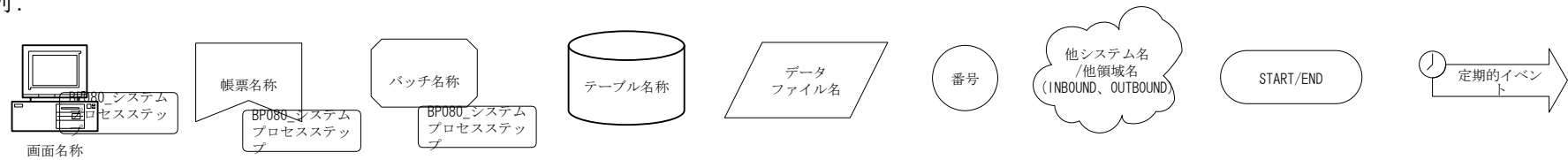
出荷確認: 日次夜間バッチ。その他: 随時。

システムプロセスフロー記入時の注意事項

- 機能単位（標準機能含む）で記入すること
- INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
- I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
- 左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
- 1ファイル、1システムプロセスフローとすること
- フローが複数シートになる場合、（→① / ①→）のように番号でフローの繋がりを明確にすること
- 1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること



凡例:

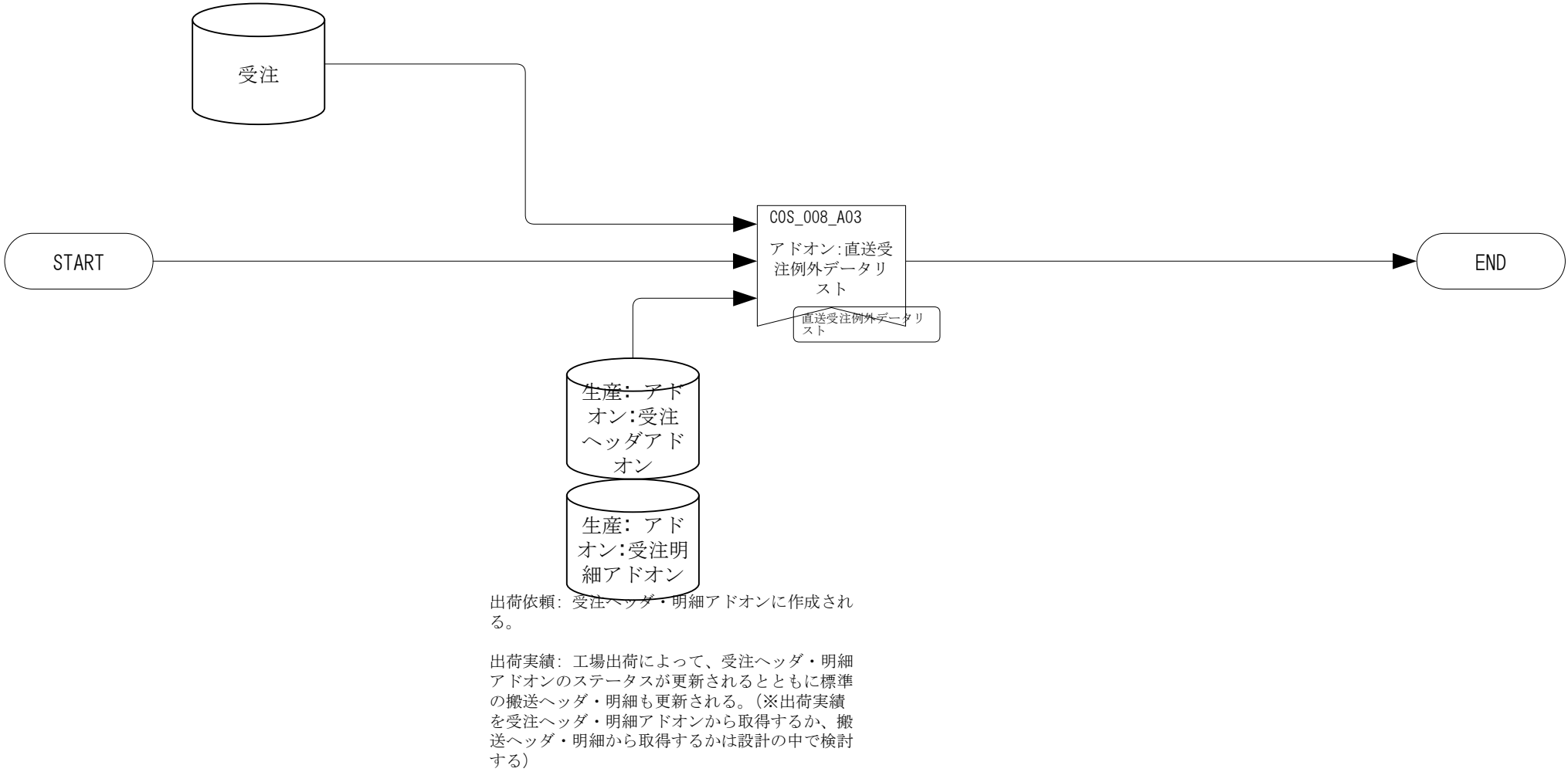


**処理概要**  
工場直送出荷の場合、営業Sから生産物流Sに出荷依頼データを連携し、生産物流Sで出荷処理を行います。生産物流Sで出荷完了後、営業Sに出荷データを取込むタイミングで対象受注を出荷済に更新し、販売実績テーブルにデータを書き込みます。

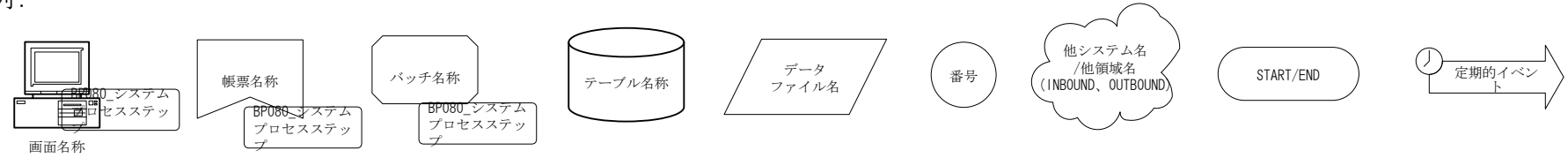
**システム利用者**  
在庫照会画面: 特販部課\_内務担当者(特販部)  
その他: 拠点\_内務担当者、百貨店課\_内務担当者、専門店課\_内務担当者、  
特販部課\_内務担当者、通販部課\_内務担当者、国際部\_内務担当者

**処理タイミング、その他**  
出荷確認: 日次夜間バッチ。その他: 随時。

- システムプロセスフロー記入時の注意事項**
- ・機能単位（標準機能含む）で記入すること
  - ・INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
  - ・I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
  - ・左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
  - ・1 ファイル、1 システムプロセスフローとすること
  - ・フローが複数シートになる場合、（→① / ①→）のように番号でフローの繋がりを明確にすること
  - ・1 システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること



凡例:

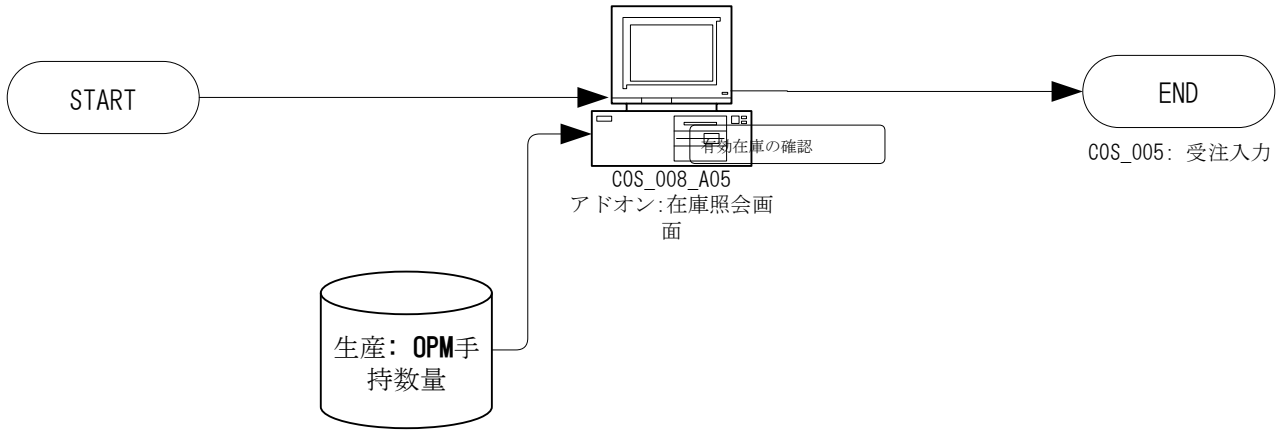


**処理概要**  
工場直送出荷の場合、営業Sから生産物流Sに出荷依頼データを連携し、生産物流Sで出荷処理を行います。生産物流Sで出荷完了後、営業Sに出荷データを取込むタイミングで対象受注を出荷済に更新し、販売実績テーブルにデータを書き込みます。

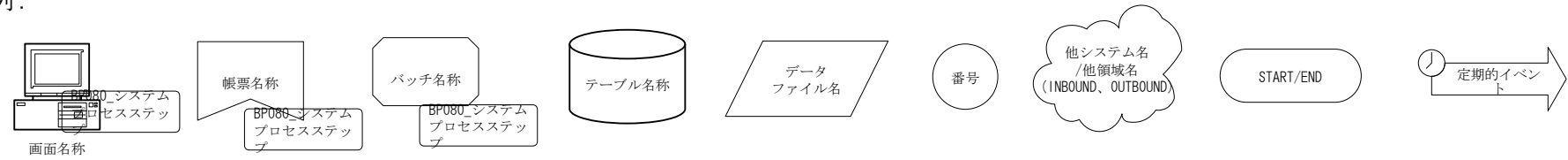
**システム利用者**  
在庫照会画面: 特販部課\_内務担当者(特販部)  
その他: 拠点\_内務担当者、百貨店課\_内務担当者、専門店課\_内務担当者、  
特販部課\_内務担当者、通販部課\_内務担当者、国際部\_内務担当者

**処理タイミング、その他**  
出荷確認: 日次夜間バッチ。その他: 随時。

- システムプロセスフロー記入時の注意事項**
- 機能単位（標準機能含む）で記入すること
  - INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
  - I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
  - 左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
  - 1 ファイル、1 システムプロセスフローとすること
  - フローが複数シートになる場合、（→① / ①→）のように番号でフローの繋がりを明確にすること
  - 1 システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること



凡例:



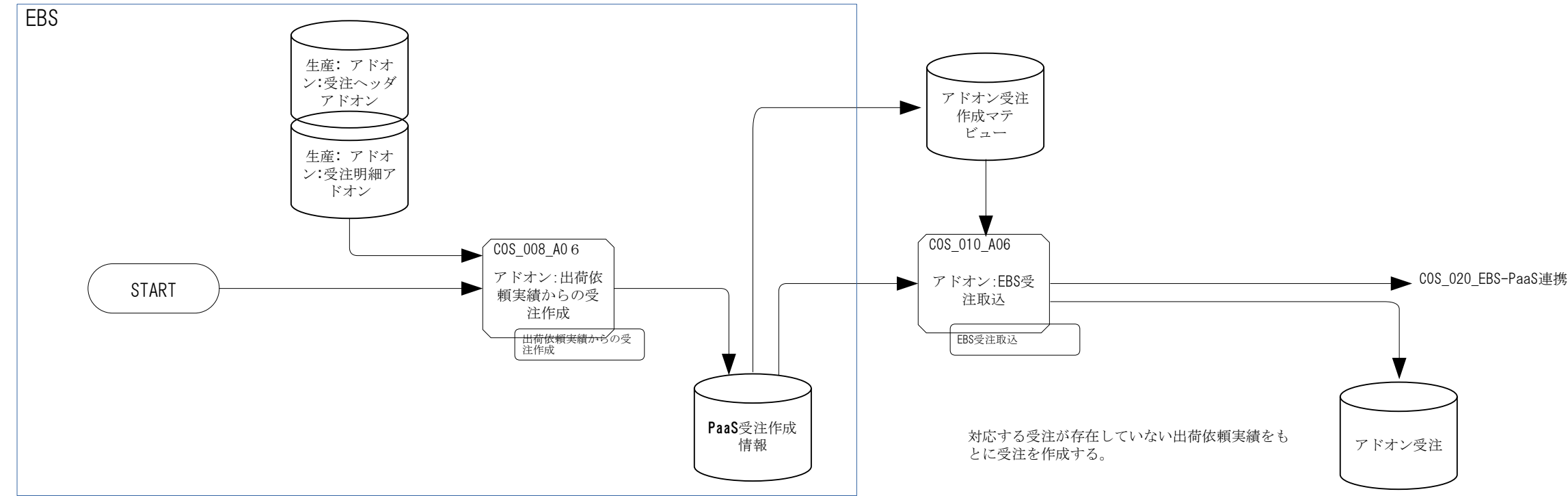
**処理概要**  
工場直送出荷の場合、営業Sから生産物流Sに出荷依頼データを連携し、生産物流Sで出荷処理を行います。生産物流Sで出荷完了後、営業Sに出荷データを取込むタイミングで対象受注を出荷済に更新し、販売実績テーブルにデータを書き込みます。

**システム利用者**  
在庫照会画面: 特販部課\_内務担当者(特販部)  
その他: 拠点\_内務担当者、百貨店課\_内務担当者、専門店課\_内務担当者、  
特販部課\_内務担当者、通販部課\_内務担当者、国際部\_内務担当者

**処理タイミング、その他**  
出荷確認: 日次夜間バッチ。その他: 随時。

**システムプロセスフロー記入時の注意事項**

- 機能単位（標準機能含む）で記入すること
- INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
- I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
- 左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
- 1 ファイル、1 システムプロセスフローとすること
- フローが複数シートになる場合、（→① / ①→）のように番号でフローの繋がりを明確にすること
- 1 システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること



凡例:

